

# かまはし

発行 地域力推進蒲田西地区委員会  
編集 地域情報紙編集委員会

第72号

わがまちの顔

## 甲斐ひかるバレエアトリエ



大田区民プラザ「社会を明るくする運動」

います。クラシックバレエ、タップダンス、キッズダンス、琉球舞踊などのクラスがあります。

### 楽しいレッスン

バレエのレッスンは、ベビー、チャイルド、アダルトのクラスがあり、初・中・上級に分かれて各々に目標が掲げられています。同様に、その他のクラスにも目標があり、生徒はその目標に向かってレッスンを励んでいます。

取材した日は、チャイルド中級（小学三～四年生）のバレエレッスンの時間でした。幼少期から習っている子が多く、先生の熱心な指導に見事に応えていました。

子どもたちが「先生はちよつと怖い時もあるけど、いつも優しく教えてもらっています」「将来はバレリーナになりたい」……などと礼儀正しく、目を輝かせて話してくれたのが印象的でした。

### 地域と共に歩む

アトリエのある「宮元通り商店街まつり」では、年数回踊りを披露しています。「大楽寺の豆まき」

「蒲田西口商店街ハロウィンイベント」「道塚自治会敬老会」への参加や、大田区民プラザで「社会を明るくする運動」に出演するなど、地域の皆さんに愛されています。

また、昨年九月一四日には、神奈川県立青少年センターで第15回発表会を行い、バレエ、タップダンス、キッズダンス、琉球舞踊などとオリジナルバレエ「不思議の国のアリス」を上演！あの猛暑にも負けずレッスン、リハーサルをかさねたその成果を十分に発揮して、多くの観客から拍手喝采を浴びました。

### 絆(きずな)を大切に

ひかる先生は、人との絆を大切にアトリエを運営しています。「自分が習ったから子どもにも習わせている人、やりたくてもできなかった人、子どもと一緒に習う人など幅広い年代層で、バレエに興味・関心のある人なら誰でも大歓迎。」「生徒全員フアミリー」との思いでレッスンを継続していきたい。また、「今後も多くのイベントなどに出演し、地域の皆さんに更に愛されるアトリエにしていきたい」と熱く語っていました。

改元の新しい年を迎え、益々のご発展を祈念いたします。  
(取材 伴野・横山委員)

二七周年を迎えて  
新蒲田三丁目、宮元通り商店街の一角に「甲斐(かい)ひかるバレエアトリエ」があります。  
このアトリエは一九九二(平成四)年矢口で開設、二年後現地に移って二七年。  
当初は一〇名ほどの生徒でスタートしましたが、現在はひかる先生にお嬢様の瑞夏先生、ほか三名の先生の指導のもと、生徒数は七〇名を超え、年齢も三歳から八〇歳までという幅広い構成になって

# ♪ 蒲田行進曲の街

## 蒲田駅の発車メロディ

一日の平均乗客数一五万人といわれるJR蒲田駅。そこに流れる発車メロディはご存じ「蒲田行進曲」です。まさにご当地ソングですが、もとは一九二九（昭和四）年、松竹蒲田撮影所が一〇周年を記念して作った所歌でした。ことに一九八二（昭和五六）年の映画「蒲田行進曲」のオープニング曲として使われてからは、いっそう人気の曲になりました。

虹の都 光の港  
 キネマの天地  
 花の姿 春の匂い 溢るる処  
 カメラの眼に映る かりそめの恋にさえ  
 青春もゆる 生命はおどる  
 キネマの天地

（二番略）

春の蒲田 花咲く蒲田  
 キネマの都  
 空に描く白日の夢 溢るる処  
 輝く緑さえ とこしえの憧れに  
 生くる蒲田 若き蒲田  
 キネマの都

——原詞＝British Hooker、日本語の詞＝堀内敬三、原曲＝Rudolph Friml、編曲＝甲斐正人。

## 松竹キネマ蒲田撮影所

さて、その蒲田撮影所は一九二〇（大正九）年、松竹が「東洋のハリウッド」を掲げて開設したものです。ハリウッドから技術者を招聘、最新機材を導入し、映画専門の女性俳優（女優）の育成等を通じて日本映画の近代化に着手しました。

蒲田で作られた映画は「松竹蒲田調」と名付けられ、日本映画に一時代を築いたのです。小津安二郎・成瀬巳喜男・田中絹代・高峰秀子らの映画人を輩出し、国産初の本格トーキー（発声）映画を生み出したのもこの撮影所でした。しかし、映画が庶民の最大の娯楽として成長していく過程でこの場所では手狭となり、周辺町工場の騒音も制作上の支障となつて、一九三六（昭和一一）年、鎌倉市大船に移転します。この一六年間に松竹蒲田で制作された映画は、

なんと一二〇〇本！  
 その跡地には現在、ニッセイアロマスクエアや大田区民ホールアブリコが建っています。今、アブリコの一階には、撮影所正門前に架けられていた松竹橋親柱が保存されており、その地下一階には松竹寄贈の、精巧な撮影所全体のジオラマが展示されていて、「キネマの天地・都」とうたわれた当時を偲ぶよすがとなっています。



蒲田撮影所正面（昭和初期、手前が松竹橋）

## 当時の撮影所の様子

一九五四（昭和二九）年ごろの大船撮影所入口には、毎日の俳優予定表が掲示されていました。各2映画監督の組ごとに小津組・木下組・渋谷組等の下に、翌日の出演者の「氏名・撮影開始時刻・撮影予定シーン番号」が書き込んであつて、備考欄には、当人の確認サインがあつた由。主演者から大部屋の一人通行人に至るまで、全出演者が網羅されている、これは蒲田撮影所時代から受け継がれたシステムだったそうです。

一九三四（昭和九）年当時の蒲田撮影所名簿には、男優大部屋一四〇名・女優大部屋一〇五名にスターを合わせて、俳優だけで総勢二九〇名という驚くべき数字が残っています。



現在の松竹橋

蒲田駅から撮影所に続く東口大通りは「蒲田銀座通り」と呼ばれて、当時のスターや映画関係者が行き交う、賑やかで華やかな空間でした。

一九二二（大正一一）年発行の雑誌「蒲田」をはじめ「蒲田画報」「蒲田下賀茂グラフィック」「蒲田映画」「蒲田花形」など、蒲田だけでも五、六種のファン雑誌が出版されています。

### 蒲田の昔と今

かつて蒲田は「梅ノ木村」と呼ばれ、梅の名所でした。当地の豪族Ⅱ蒲田氏が平良文の娘Ⅱ梅姫と結婚した際、京都から取り寄せたのが始まりといわれています。

江戸時代になると六郷用水が蒲田に肥沃な農地を作り、農家は米や麦を主に梅の栽培で生計を立てていました。蒲田の梅は歌川広重が「江戸名所百景」として描き、現在、大田区の「区の花」にもなっています。

明治から大正にかけて、蒲田の菖蒲園は名勝地として評判でした。その広さ約三・三ヘクタール、場所は今の蒲田小学校付近。あやめ（菖蒲）橋にその名残をとどめていますが、蒲田駅はその行楽客のために設けられたものでした。一九〇四（明治三七）年のことです。

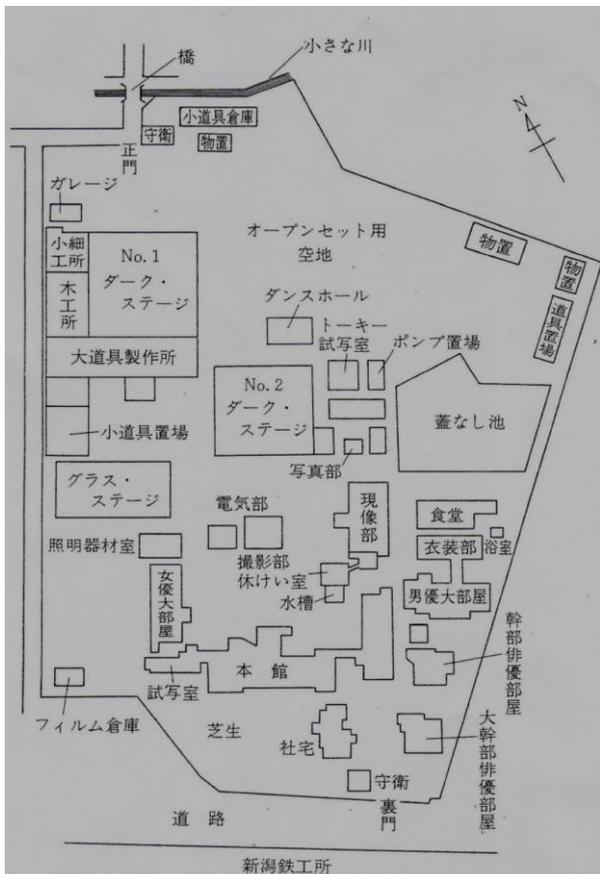
初めは寂しい駅でしたが、一九二〇（大正九）年に蒲田撮影所が発足すると、駅前商店街が急速に発展していきます。二年後、蒲田村が蒲田町になり、その祝賀会の席上、初代石井町長は、蒲田撮影所に対し、街の発展貢献者として厚く謝辞を述べたそうです。

一方、蒲田駅の開業によって周辺に大小の工場が立地し、職住一体の黒澤村（タイプライター）の誕生や新潟鉄工所・大倉陶園・高砂香料・各務クリスタルなどが知られています。

昭和に入って満州事変に始まる戦争は、一九四五（昭和二〇）年八月の終戦で幕を閉じますが、その年四月一五日の空襲で蒲田の街は焦土と化しました。以来七〇数年、蒲田は大田区行政の中心地として、また都南部を代表する繁華街となって今日を迎えています。

そして「蒲田行進曲」も誕生して九〇年、今も街の会合で、その締めには必ず登場しています。今後もさらに歌い・踊り継がれていくことでしょう。

（取材 伊藤・下山・飯島委員）



蒲田撮影所(昭和6年)



広重「蒲田の梅園」

# 第11回かまにしコンサート

地域と地域住民でつくる地域の  
ための「かまにしコンサート」。

——このコンセプトで二〇〇九年  
に産声を上げて以来、回をかさね  
ること一回め、今年も二月二四  
日(日)、幅広い年齢層、多彩なジ  
ヤンルー三団体の出演を得て盛大  
に開催されました。三寒四温の真  
つ只中、ステージは春に先駆けて  
まさに百花繚乱!

このコンサートは、第八回以降、  
主催が道塚自治会から蒲田西地区  
自治会連合会に代わり、また会場  
が今回、従前の大田区民センター  
音楽ホール解体にともない東京  
実業高等学校フェニックスアリー  
ナに変更になりました。  
上野理事長、知念校長はじめ同  
校挙げてのご協力に、あらためて  
お礼申しあげます。

- さて、当日の出演団体は順に
- 1 道塚幼稚園(合奏)
  - 2 おなづか小学校(バイオリン)
  - 3 相生こども手話の会(手話歌)
  - 4 ウリパラム(韓国伝統打農楽)
  - 5 道塚小学校合唱団(合唱)
  - 6 今泉延命寺双盤講保存会(双盤)

念仏)

- 7 東京実業高等学校(マーチング  
バンド)
- 休憩——

- 8 南蒲幼稚園(演奏・歌)
- 9 Genesis Youth Chor(混声合唱)
- 10 多摩川諏訪囃子(江戸囃子)
- 11 下丸子ほほえみ合唱団(合唱)
- 12 日本工学院ミュージックカレ  
ッジ(ポップス)
- 13 マリンスノー(歌謡曲)

前後半トップを務めた可愛い園  
児の素晴らしさ、プロまがいの出  
演者、そして珍しい演目……それ  
ぞれの熱演に酔いしれて、思わず  
歓声、惜しめない拍手で過ぎた



今泉延命寺双盤講保存会の双盤念仏



フィナーレ——「蒲田行進曲」の大合唱

約四時間でした。  
そしてフィナーレ。会場全員に  
よるご当地ソング「蒲田行進曲」  
の大合唱。女性有志の踊りも加わ  
って、だれもがこの街に暮らす幸  
せをかみしめたのでした。

なお、当日の入場者は延べ一五  
〇〇名。同時に行った募金活動の  
ご芳志は、大田区福祉事業積立基  
金へ寄付させていただくそうです。  
関係者の皆様、たいへんごくろ  
うさまでした。

(取材 山口委員)

## 蒲田西特別出張所管内

人口	男	32,469人
	女	30,092人
	計	62,561人
世帯	35,838世帯	

令和元年 5月1日現在

かまにし17をお読みいた  
き、ありがとうございます。  
情報紙に対するご意見やご  
感想、または投稿などござ  
いましたら、お気軽に事務局  
までお寄せください。

事務局 蒲田西特別出張  
所 大田区西蒲田七一一一